

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立伊勢原小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を読んで理解したことを関連付けながら、自分の考えをまとめることができる。 ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように表し方を工夫すること。 ・情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ・敬語を理解し使うこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・()を用いた式や分配法則を使った式、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ったり、計算したりすることができる。 ・示された表から必要な数を読み取ることができる。 ・複数の棒グラフを読み、見いだした違いを記述することができる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を見だし、判断の理由を記述すること。 ・伴って変わる二つの数量の問題、特に、知りたい数量の大きさの求め方と答えを、式と言葉を用いて記述すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にはよいところがあると考え、それを先生が認めてくれていると感じている。 ・人の役に立つ人間になりたいと考えている等、将来の夢や目標をもっている。 ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと理解している。 ・ICT機器が学習の役に立つと考えており、毎日1時間以上使っている児童が一定数いる。 ・国語や算数・英語の学習の大切さを自覚し、学習したことが将来役立つと理解している。 ・算数と英語の学習を好きと考えている児童が多い。 ・国語・算数とも、問題に最後まで解答しようと努力することができる。無回答率も低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童が基本的な生活習慣を身に付けているが、朝食を食べていなかったり、就寝時刻が決まっていなかったりする児童もいる。 ・困りごとや不安があるときに、学校にいる大人に相談できると考えられていない児童がいる。 ・読書について、週に30分以上読書している児童が多くはなく、好きと答えた児童もやや少ない。 ・特に国語の学習が「好きではない。」「あまり好きではない。」と回答している児童がいる。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」に関して、本校で取り組んでいる研究と合わせて、系統的に指導していく。また、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるようにする。 低学年：必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にし、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて書けるようにしていく。 中学年：相手や目的を意識して伝えたいことを明確にし、内容のまとまりやその関係を明確にして書けるようにしていく。 高学年：集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、図やグラフなどを用いるなどして自分の考えが伝わるように表し方を工夫できるようにしていく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の場面に対応させながら、筋道を立てて考え、問題の解決方法を式や言葉を用いて説明できるようにしていく。 ・複数のグラフを読み取る力を付けさせるとともに、特徴や傾向を捉えたり、考察したりしたことを、グラフのどの部分から考えたのかを明らかにして他者にわかるように伝えることができるようにしていく。
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

<p>日頃より児童の健康管理や規則正しい生活習慣の確立、家庭学習へのご支援をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>学習について、多くの児童が国語や算数の学習が大切であると考えています。しかし、自分の考えをまとめたり話し合ったりすることに主体的に取り組めていないと考えている児童がいるようです。基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、児童が考えたり書いたり話し合ったりする時間を確保し、友達と考えを深め合えるようにしていきたいと考えます。また、多くの児童がICTの活用が学習に役立つと考えており、学校はもちろんご家庭でもタブレット等を活用した学習の時間が増えているようです。反面、読書の時間や新聞を読む時間が少ない児童が多くなっています。インターネットやSNSの適切な使用については学校でも指導していますが、マナーやルール徹底と安全対策をお願いします。</p> <p>今後も、児童が主体的・継続的に学習に取り組むことを目指して指導してまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。</p>
